

第2回 今後の国立大学附属病院施設整備に関する検討会 資料

医師の視点及び経営面等から感じた 再開発整備における施設整備上の成果と課題

国立大学法人広島大学長 浅原利正



広島大学病院が抱えていた問題と再開発の必要性

抱えていた問題

- ・ 病院施設及び設備の老朽化による先進医療への順応困難
- ・ 手術件数増による手術スペース・設備の不足
- ・ 研究医等の臨床教育研修スペースの不足

・・・e.t.c

「広島地域の中核病院として
優れた人材育成を基盤に
診療、研究を通じた
社会貢献を果たす」

病院再開発整備により
超高齢化社会における
「社会的要請」
新医療時代への
「学術的要請」
に応える

求められる機能・役割

- ・ 患者中心の医療への実践
- ・ 地域医療への貢献
- ・ 臨床実習教育研修の充実
- ・ 高度先進医療・探索医療の開発
- ・ 病院機能の円滑化・運営環境の整備
- ・ 災害時医療拠点としての防災機能充実

・・・e.t.c

入院棟整備による診療機能等の改善



【入院棟】

〔病棟〕

延面積：45,381㎡

病床数：746床

- ・平成15年1月 開院
- ・平成23年9月

歯科病室移転

○ 診療環境, 診療機能の改善・充実

- ・患者アメニティ向上のための「憩いの森」設置 【患者ニーズ】
- ・新生児集中治療室(NICU)及び新生児室の増床(6室) 【医療ニーズ】
- ・病室の拡充(6床室→4床室), 個室の確保, 分散トイレの設置 【診療環境】
- ・面談室設置によるプライバシーの確保及びインフォームドコンセントの充実 【診療環境】
- ・ユニバーサルデザイン, バリアフリーへの対応 【診療環境】

○ 地域医療への貢献

- ・臨床教育研修スペース(カンファレンスルーム等)の確保 【人材育成】
- ・集学的治療用スペース(集中治療病棟, 先進治療病棟, 総合治療病棟)の整備 【先進医療】
- ・高度救命救急センターの設置 【地域貢献】
- ・西日本医療機関との三次被ばく医療に関する連携協力 【地域貢献】
- ・免震構造の採用, 自家発電設備拡充による災害対策 【防災機能】
- ・デイルーム, サンプルーム, 運動療法室等への医療ガス設備の整備(災害時対応) 【防災機能】
- ・ヘリコプター緊急離着陸場の設置 【防災機能, 地域貢献】

○ 運用の見直しと設備の改善

- ・IT技術を活用した医療情報システムの整備 【運営効率化】
- ・病室(特殊診療病室を除く)を共通病床として運用 【運営効率化】
- ・医科・歯科の統合配置による施設・人員の一元化 【運営効率化】
- ・エネルギー負荷の低減 【環境対策】

診療棟整備による診療機能等の改善



【診療棟】

[外来・中央診療棟]

延面積：38,554㎡

・平成25年9月

開院予定

○ 診療環境, 診療機能の改善・充実

- ・ 集中治療室(ICU)の増床(6室)【医療ニーズ】
- ・ 診察室個室化, インフォームドコンセントスペース確保【診療環境】
- ・ ユニバーサルデザイン, バリアフリーへの対応【診療環境】

○ 地域医療への貢献

- ・ 臨床教育研修スペース(カンファレンスルーム等)の確保【人材育成】
- ・ 世界レベルの専門診療(未来医療センター等)の設置・充実・強化【先進医療】
- ・ 免震構造の採用, 自家発電設備拡充による災害対策【防災機能】
- ・ 災害時での多数の患者受入を可能にする玄関ホール等への医療ガス設備の整備【防災機能】

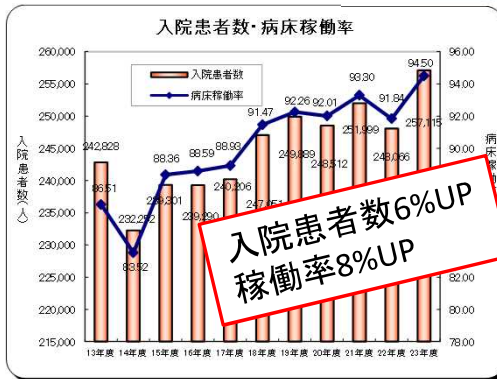
○ 運用の見直しと設備の改善

- ・ IT技術を活用した医療情報システムの整備【運営効率化】
- ・ 医科・歯科の統合配置による施設・人員の一元化【運営効率化】
- ・ エネルギー負荷の低減【環境対策】

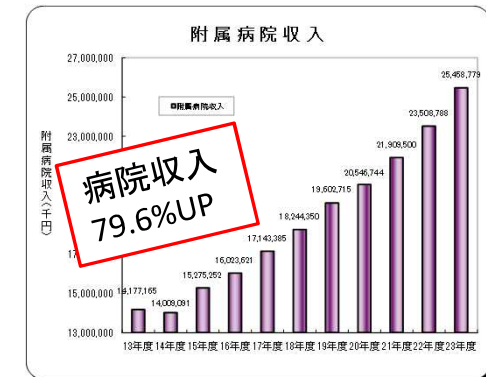
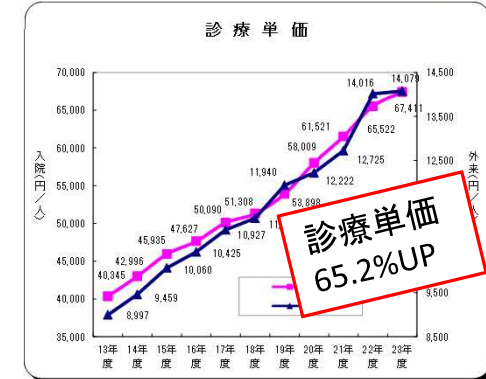
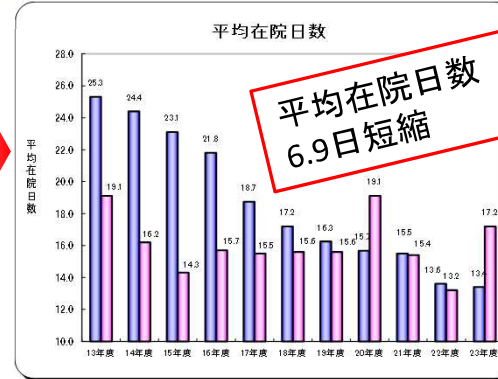
再開発整備の成果・今後の課題

再開発整備の成果

— 入院・手術待ち患者の減少及び病院収入の増収 —



在院日数短縮
病床稼働率向上
両立



今後の課題

- ・ 患者アメニティの向上
- ・ 患者サービスの向上
- ・ 新しい医療への対応

- ・ 病室個室化及び集中治療室(ICU病室)増床の推進
- ・ 高度救命救急センターの拡充
- ・ センターの新設(国際放射線障害医療センター, 健康増進センター, 脳血管センター 他)
- ・ 患者用駐車場(立体駐車場)の整備